

令和5年度（5学年用）教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第5学年 A組～D組

使用教科書：（詳説世界史（山川出版社））

教科 地理 目標：

【知識及び技能】歴史の始まりから17世紀までの世界の動きを西洋史と東洋史を並行しながら学習し、現代史を理解する基本的な世界の構造を学んでいく。この時、各地の世界が別個に発展しながら関係を深めていき、近代における世界の一体化に進むことを理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】人間の営みの結果としての歴史の経過を時間軸の前後の関係、地域ごとの相互関係の双方から考察して因果関係や相互関係を意識しながら学び考える態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】授業で扱った事象を受け身で記憶していくだけでなく、自ら考えて理解しようとし、図説等の資料も活用しながら興味を持ったものを自ら研究していく態度を養いたい。また、入試のことを考えると復習を行って知識を定着させる態度を養わせたい。

科目 日本史B（必修選択・自由選択）の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史のはじまりから近代中盤までの歴史の変化に関わる諸事象について、世界を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	歴史のはじまりから近代中盤までの歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多角的・多面的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論する力を養う。	歴史のはじまりから近代中盤までの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、我が国をはじめ他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>人類の発生と古代文明・中国文明の成立と王朝の成立</p> <p>【知識及び技能】時代の特色・変遷を総合的に考察し、読み取った情報を課題の解決に向けてまとめる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義について、自分の考えを論理的に説明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】複数の資料を比較検討して異同を確認するなど、更に学習を深めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の成立と文字の使用・古代国家の成立と相互関係の発生による小規模な国際世界の成立をみる。 ・古代ギリシアの民主政の特徴について学ぶ。 ・中国文明の成立に関し、「天」や「易姓革命」、「華夷思想（中華思想）」について理解する。 ・中国の王朝政治の徳量について理解する。 	<p>【知識・技能】必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習を通して歴史的事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	18
定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
<p>ローマ帝国の成立・滅亡と西ヨーロッパ中世世界・魏晋南北朝時代から唐王朝</p> <p>【知識及び技能】時代の特色・変遷を総合的に考察し、読み取った情報をまとめる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義に関し自分の考えを論理的に説明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】複数の資料を比較検討して異同を確認するなど更に学習を深めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマの発展と衰退に触れながら、ローマがヨーロッパ世界の形成に果たした役割を考察していく。 ・ヨーロッパ中世世界の成立や特徴をローマ遅刻との関連から理解させる。 ・魏晋南北朝時代の異民族と漢民族のかかわりを理解させ、その関連を踏まえて唐や宋の社会の特徴を考えさせる。 ・唐における節度使の功罪を考えさせるとともに、中国の諸王朝の衰退に共通する特徴を考えさせる。 	<p>【知識・技能】必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習を通して歴史的事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	10
七月考査		考査・ワークシート	○	○		1
<p>ヨーロッパ中世と宋から明までの中国の歴史を並行して学ぶ。</p> <p>【知識及び技能】時代の特色・変遷を総合的に考察し、読み取った情報を課題の解決に向けてまとめる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義について、自分の考えを論理的に説明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】複数の資料を比較検討して異同を確認するなど、更に学習を深めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ帝国滅亡後のヨーロッパの変化を帝国末期の社会変化と関連させながら理解させる。 ・よって中世世界の変容と王権の強化の過程を見ながら絶対王政の成立の過程を理解させる。 ・宋の国政の特徴と朱子学の確立に関してそれ以前の儒学との比較の上で理解を深めさせる。 ・遼、西夏、金と宋の関係、モンゴル帝国の成立などを通して中国文明の拡大と周辺民族との力関係の変化を学ばせる。 	<p>【知識・技能】必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習を通して歴史的事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	8
定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
<p>ヨーロッパにおける近代国家の成立と清代の中国を相関させながら学ぶ。</p> <p>【知識及び技能】時代の特色・変遷を総合的に考察し、読み取った情報を課題の解決に向けてまとめる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や意義について、自分の考えを論理的に説明する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】複数の資料を比較検討して異同を確認するなど、更に学習を深めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける主権国家体制の成立と重商主義、植民地拡大の動きと、インド洋と太平洋をまたぐ世界の一体化を理解させるとともに、それがアジア、アフリカに及ぼした影響について考察させる。 ・アジア諸地域の経済活動がヨーロッパとの貿易でどのように変化していったのかを広い視野に立って理解させる。 ・世界システム論の視点を持って世界の一体化を学び、この時代が現代にどうつながるかを考察させる。 	<p>【知識・技能】必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習を通して歴史的事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	16
定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
問題演習	・今までの学習の積み重ねをもとに、考察や構想したことを記述などを通して再構成していくことができる。		○	○	○	6
						合計
						62

高等学校 令和5年度 (6学年用) 教科 地歴

科目 世界史B (必修)

教科: 地理歴史

科目: 世界史B (必修)

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 6 学年 B 組~ C 組

使用教科書: (詳説世界史B (山川出版社))

教科 地歴

の目標:

【知識及び技能】 古代から近代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 古代から近代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多角的・多面的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 古代から近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史B (必修)

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近世から近代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	近世・近代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多角的・多面的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論する力を養う。	近世・近代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 オリентと地中海世界	<ul style="list-style-type: none"> 文明の成立と歴史時代の始まり オリент型の専制国家の成立 東地中海世界の成立 オリентの統一 エーが文明 ギリシアの国家、ポリスの特徴とアテナの民主政 	<p>【知識・技能】 必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、自称相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習を通して歴史的な事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	24
	定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> ローマ帝国の成立と滅亡 キリスト教の成立と発展 西ヨーロッパ中世世界の成立と変遷 東ヨーロッパ世界 イスラーム世界との関連 	<p>【知識・技能】 必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習を通して歴史的な事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	12
	七月考査		考査・ワークシート	○	○		1
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第8章 近代ヨーロッパ世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> 十字軍とヨーロッパ世界の変容 都市と商業の復興 荘園制の崩壊と王権の伸長 主権国家の成立に向けて 	<p>【知識・技能】 必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習を通して歴史的な事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	20
	定期考査		考査・ワークシート	○	○		1
	第8章 近代ヨーロッパ世界の形成 第10章 近代ヨーロッパ世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> レコンキスタと大航海時代の始まり ルネサンスの開始と展開 宗教改革 	<p>【知識・技能】 必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習を通して歴史的な事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	14

2 学 期	第7章 アジア諸地域の発展 第15章 冷戦と第三世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の成立と発展 ・ティムールの帝国 ・インドのイスラーム化とムガル帝国の成立 ・東南アジア諸地域のイスラーム化 	<p>【知識・技能】必要な社会的事象に関する情報を収集することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】歴史的な見方や考え方を働かせて、事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習を通して歴史的事象のもつ意味や重要性を更に追究していくことができる。</p>	○	○	○	12	
	定期考査		考査・ワークシート	○	○		1	
	問題演習 近世史・近現代史	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習の積み重ねをもとに、考察や構想したことを記述などを通して再構成していくことができる。 		○	○	○	8	
							合計	94